

## K-ART <2月 バレンタイン>



### <テーマを決める>

2月といえばバレンタインデーですね。

バレンタインデーの日に、お父さん、お母さん、兄弟やお友達のために手作りチョコレートをを作る人も多いかもしれません。

今回は、本物そっくりのバレンタインチョコレートを作りましょう。そして、みんなをびっくりにさせちゃいましょう。

### <問いを考える>

「バレンタインデーって知ってるかな？」

「バレンタインデーは、実は今から1700年以上前にできたローマ国民がお祈りする日だそうです」

「バレンタインデーはチョコレートを贈るイメージがあると思うけれど、それは世界で行われていると思う？実は日本だけのようです。世界では、お花やお菓子などを贈るようです」「ちなみに、3月14日のホワイトデー

でお返しをするというのも日本でできたイベントだそうです。」

### <環境をデザインする>

本物そっくりに仕上げるためには・・・ということ、土台として粘土でハート型のチョコレートを作り、色を塗ります。

そして、アーモンド、カシューナッツ、コーヒー豆なども本物そっくりに作ってボンドでくっつけます。最後に、売っているチョコレートのように箱に入れて素敵に仕上げましょう。

#### やさしい K-ART

#### 2026 第2算のテーマ (バレンタインワーク)

本物みたいなバレンタインチョコを作ります♪まがちがえてたべないように…

1. 石粉粘土 80グラム程度
2. クリアケース
3. 敷紙 (黒)
4. 抜き型用パーツ (黒帯)
5. マスキングテープ
6. スクレーパー (四角黒)
7. 綿棒、爪楊枝など
8. ボンド少々
9. キットパス
10. ベビーパウダー



K-ART <2月バレンタインのそっくりチョコ> 実施報告 アンジェリカ亀戸保育園



<探究活動を実践し、記録する>  
2/4 (4歳児)

粘土をこねて、まるめて、平たくして・・・この一連の流れの中でも人によって得意不得意があったり、丁寧な子、どんどん進める子もいましたが、3つ目のハートを作る頃にはみんな慣れていて、どんどん自分で進められるようになっていました。色付けをしたらどんなチョコプレートになるか楽しみです。



<探究活動を実践し、記録する>  
2/4 (5歳児)

粘土が好きな子が多い印象でした。もうすぐ1年生になる子どもたちはすぐにコツもつかんで、どんどん作っていききました。1個目よりも2個目、2個目よりも3個目の方がきれいなハートになっていました。アーモンドや木の実など見本のように作る子、自分で考えて作る子がいて、完成が楽しみです。

# K-ART <2月バレンタインのそっくりチョコ> 実施報告 アンジェリカ亀戸保育園



## <探究活動を実践し、記録する> 2/18 (4歳児)

私は少し体調不良だったので中に入りませんが、この写真を見た時にみんなが楽しくハートのチョコレートを仕上げて喜んでくれていることがわかりました。

「お父さんのために」「お母さんのために」・・・と、誰かのためにどうしていいかと考えることはデザインの第一歩でもあります。みんな人のために何かを作れる人になるといいなと思いました。

K-ART <2月バレンタインのそっくりチョコ> 実施報告 アンジェリカ亀戸保育園



<探究活動を実践し、記録する>

2/18 (5歳児)

5歳児クラスのみならず「家族のため」「兄弟のため」に作っている子が多かったです。ハートのチョコレートだけでなく、ナッツやバナナ、ブルーベリーなどの飾りパーツもしっかりと塗って、美味しそうなチョコレートができました。持ち帰った時に、親御さんの反応がとても楽しみです。

